

令和3年（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	地域経済論 (Topics of Regional Economics) 393134-14100					担当教員	鯉江 康正 (コイエ ヤスマサ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	後期
科目特性	地域志向科目／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要

地域主権という言葉を目にしたことはあると思いますが、簡単に言えば、地域のことは地域に住む住民が決めるということです。地域主権が進められれば、当然の事ながら、地域間での生き残り競争が激しくなります。それに勝ち抜くためには地域の価値を十分に活かした地域振興が必要になります。本講義では、地域の魅力発見と人口減少社会における地域政策をテーマに、学生諸君が社会に出たときに地域の問題を考える材料を増やすこと、および、地域振興に関して様々な方法を提言できるようになることを目的とする。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

地域社会に貢献する姿勢／専門的知識・技能を活用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

新潟県および長岡市の現状を紹介し、それをもとに、学生がどうしたら地域が活性化するかを独自に考え、グループで共有化することによって、地域活性化の方向性を探っていく。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「都市経済学」「地域経済学」の単位を取得していることが望ましい。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 地域データから地域の現状を把握する能力を有すること。
- (ii) そこから課題や問題点を抽出できること。
- (iii) その解決策を自ら考え、発表できる能力を有すること。

⑥ テキスト（教科書）

テキスト指定なし。テキストの代わりに資料等を配布する。

⑦ 参考図書・指定図書

長岡市（平成28年3月）『長岡市総合計画（平成28年度～平成37年度）』

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		10%			30%		100%
(i) 地域データから地域の現状を把握する能力	20%		3%			10%		33%
(ii) 課題や問題点を抽出する能力	20%		2%			10%		32%
(iii) 解決策を自ら考え、発表できる能力	20%		5%			10%		35%
フィードバックの方法	課題は添削して返却する。授業への参加・意欲は、講義中のグループワークや発表について評価する。発表に対しては、講義中にコメントをすると共に、他の履修者の発表についても意見を述べる機会をつくる。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生諸君が地域に興味を持ち、地域振興に関して様々な方法を提言できるようになってもらいたい。そのために、協同学修型 AL を採用し、双方向でのコミュニケーションを意識した授業を行っていく。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	新潟県の人口①（人口の推移と将来推計人口）		県内市町村の人口の推移と人口推計方法	30 分
2	新潟県の人口②（人口増減率と年齢 3 区分別寄与度）	将来推計人口資料	人口増減率と寄与度に関する練習問題	60 分
3	新潟県の人口③（自然動態、社会動態）	将来推計人口資料	自然動態、社会動態に影響を与える要因の検討	60 分
4	私だけが知っているまちの魅力紹介	とっておき紹介シート	自分のとっておきポイントのピックアップ、シートの完成	90 分
5	長岡の魅力発見①（各自の素晴らしいと思うところを紹介）	長岡のとっておき紹介シート	長岡のとっておきシートの作成準備	60 分
6	長岡の魅力発見②（グループワークによる魅力の共有化と魅力の深化方法の検討）	長岡のとっておき紹介シート	長岡のとっておきシートのブラッシュアップ、レポート作成	120 分
7	人口減少の現状（全国市区町村の人口動向）	人口減少問題調査資料	出身地の国勢調査人口データの収集と整理	60 分

8	社会移動の理由	人口減少問題調査資料	社会移動の理由の把握と、出身地で影響が大きいと思われる理由の検討	60 分
9	人口増加要因	人口減少問題調査資料	人口規模別人口増加要因の整理シートの作成	60 分
10	地域別人口減少の影響	人口減少問題調査資料	地域別人口減少の影響シートの作成	60 分
11	人口規模別人口減少の影響	人口減少問題調査資料	人口規模別人口減少の影響シートの作成	60 分
12	地域別人口減少対策と効果	人口減少問題調査資料	地域別人口減少対策と効果シートの作成	60 分
13	人口規模別人口減少対策と効果	人口減少問題調査資料	人口規模別人口減少対策と効果シートの作成	60 分
14	長岡市の取るべき施策の検討	人口減少問題調査資料	長岡市の人口減少を抑える施策の検討	60 分
15	とりまとめ	人口減少問題調査資料	成果発表資料の作成	90 分

⑪ アクティブラーニングについて

協同学修型 AL を採用する。学生のグループワーク、ディスカッションを通じて地域政策を考えていく。さらに、チームごとに発表機会を設けることにより、他の学生の意見も吸収していくようにする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

前職の民間シンクタンクでは、「整備新幹線の経済効果分析」「道路整備の効果と評価に関する調査」「公共投資の九州地域経済に与えるインパクト分析」などの調査研究活動に従事してきた。また、「長岡市総合計画策定委員会」「長岡市都市計画マスタープラン策定委員会」「長岡版広域道路ビジョン懇談会」「長岡市住宅政策マスタープラン改定検討会議」「地域資源発信拠点整備検討委員会」などの委員を歴任している。

実務経験と授業科目との関連性

投資や地域施策の評価手法を紹介することによって、学生が考えた地域振興策の目標変数を設定する手助けとなることが可能である。また、各種政策課題を扱う委員会での知見を学生に紹介することによって、行政が地域振興に対してどのような検討課題を持ち、どのような方向性を有しているかを示すことが可能である。